

としょかん南アルプス



南アルプス市立図書館通信 No.60 2025年6月1日発行 <http://m-alps-lib.e-tosho.jp/>



南アルプス市出身
和太鼓奏者

依田みづほ

よだ みづほ

そして普通がゼロになった

さて困ったものである。

図書館や南アルプス市に関する事や影響を受けた本などを題材に文章をお願いしますとのこと。文学少女でもなければ10年大阪在住。子供の頃愛読した本と言えばシーラカンス(古代魚)についてのマニアックな本で、頻繁に小学校の図書館からお借りしては読み耽り最終的にはボロボロにしてしまった。私が読み過ぎたせいではない。愛犬に食いちぎられたのだ。その後母と学校へ謝りに行ったという苦い思い出付きである。

しかし思い返すと影響を受けた“文章”が一つだけあった。高校生の頃である。それは当時ブログというものが世に出始めた頃、今のようにスマホで簡単に読める時代でも無かったことから教室の隅に一台だけあるパソコンを牛耳り夢中になって読んだ。それが途中書籍化され手の内で読めるようになる。簡単に説明するとバックパッカーの青年が音楽と持ち前の行動力を用いて色々なことを引き寄せる28ヶ国の旅行記だ。どんどん人の輪の中に入り必要な情報を得て行動に移し、大物との接点やビッグフェスの出演など次々とあらゆることをやってのけていくのだ。とにかくその熱量に驚いた。全ては行動ありきなのだと学んだ。ただ、勢い先行ではあるものの闇雲にということでもない。どこか思慮深さも感じる所に成功を引き寄せるには“バランス”が大事なのかかもしれないと思った。後に彼は紅白歌合戦にも出演する歌手となる。

もちろん単純な私は読み終わると同時に高校生で中国一人旅に繰り出す。それまでに植え付けられた価値や普通が0スタートになる。そして今日まで和太鼓奏者という一般的ではない職業で人生を歩んでいる。

あの本のせい(おかげ)で、さて困ったものである。



写真:本人提供

プロフィール

学生の頃より地元山梨で和太鼓を始め、その後大阪のプロ和太鼓集団に10年所属。通年の単独コンサートや学校公演、約20ヶ国の海外公演へ出演。退団後は拠点を山梨に移しプロ和太鼓ユニット Hiten. (ひてん) を結成。演奏活動や指導、作曲、演出の他、南アルプス市を中心に和太鼓の和を広げている。また子供からシニアの方まで多くの方と和太鼓を楽しむ会を結成。只今メンバー募集中。

♪♪♪♪♪ 依田さん紹介本 ♪♪♪♪♪



『世界よ踊れ』

歌って蹴って！28ヶ国珍遊日記
アジア・中東・欧州・南米篇』

ナオト・インティライミ/著
幻冬舎文庫

【依田さんからのコメント】

とにかく動きたくなる！
そして自分もやれる気になる！
そんな気持ちにさせてくれる本です。

南アルプス市ふるさと人物室 第14回展示

おのようざぶろう

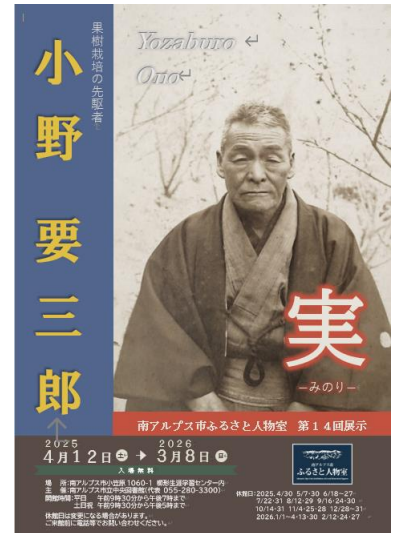
「実 -みのり- 小野要三郎」

南 アルプス市ふるさと人物室では、近代前後に活躍した南アルプス市ゆかりの人々を紹介しています。令和7年度は、南アルプス市の果樹栽培発展に大きく貢献した小野要三郎氏の展示を令和8年3月8日（日）まで開催しています。

小野要三郎氏は、嘉永7（1854）年に西野村（現在の南アルプス市）に生まれ、少年時代、西野手習所「松聲堂」に学びました。明治24（1891）年に西野村外二ヶ村組合議員に当選、明治26（1893）年から牡丹杏（スモモ）の試作を始め、ナシ・モモ・ブドウなども試みますが、虫や病気で全滅し失敗に終わります。しかし、いずれは中央線が甲府まで開通するという若尾逸平の話から、果樹栽培に将来性を感じ、その試作を続けました。

要三郎氏は成功したモモの栽培だけに収入を頼ることに危機感を持ち、一つの品目だけでなく、5月のサクランボから始まって、ウメ、スモモ、モモ、メロン、リンゴ、ブドウ、カキと晩秋まで多種栽培をしてリスクを分散させ、順に収入を得られるように栽培品目を工夫する「危険分散」の思想を説きます。その後に起きた大正9（1920）年の大霜害と繭価の暴落は、この思想が周辺住民に浸透するきっかけになりました。

現在も南アルプス市の果樹産業に大きな影響を与え続けている小野要三郎氏の功績をぜひ、ご覧ください。



子供の読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰 受賞！



4 月23日（水）、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、令和7年度「子供の読書活動優秀実践図書館」として、南アルプス市立中央図書館が文部科学大臣表彰を受けました。これは、合併前の櫛形町立図書館が平成15年に受賞して以来、22年ぶりの受賞となります。

日頃のおはなし会や子供を対象にした各種講座、また、おはなしボランティアや市内小中学校と連携した活動に加え、令和6年に発行した子供向けの伝記『マンガふるさとの偉人 東京タワーをつくった人 内藤多仲』を活用した講座の実施や学校での授業実践が認められました。これを励みにさらなる活動を推進していきたいと思います。

中央図書館(055-280-3300) 中央図書館芦安分館(055-282-7285) 白根桃源図書館(055-284-6010)
八田ふれあい図書館(055-285-5010) わかくさ図書館(055-283-1501) 甲西図書館(055-282-7291)